資料６

地域や社会の課題に関する
アンケート結果を踏まえた取組について

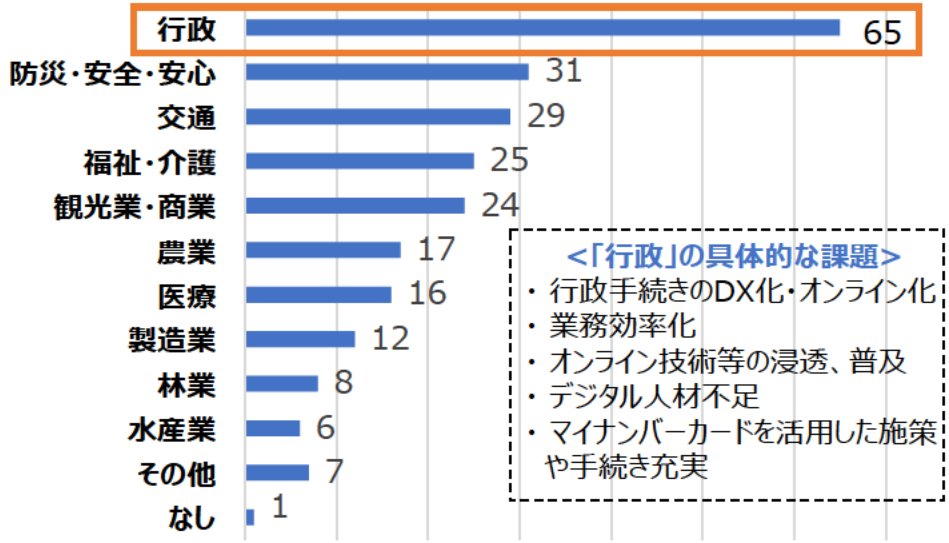
令和８年10月26日
東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会　事務局

勉強会の開催 ーー地域や社会の課題に関するアンケート結果を踏まえた取組の報告についてー

令和7年12月12日～令和8年1月16日の期間で、東海管内全市町村を対象に、各市町村の課題の把握状況やその解決に関するアンケートを実施（84市町村から回答。なお、当アンケート調査の結果は、第８回会合（R8.2.6開催）で【資料５】のとおり報告）。

アンケート調査の結果（再掲・一部抜粋）

Q 情報通信やデジタル技術による課題解決を期待している分野



<「行政」の具体的な課題>
- 行政手続きのDX化・オンライン化
- 業務効率化
- オンライン技術等の浸透、普及
- デジタル人材不足
- マイナンバーカードを活用した施策や手続き充実

Q 課題の解決策は見つけられているか。



➢ **課題は把握しているものの、具体的な解決策**や解決のための方向性を**見つけられていない**自治体が多い状況。

自治体の声※（解決策を見つけるにあたってのハードルや知りたいこと）

※ アンケート調査の回答や個別ヒアリングでの回答を集約したもの

- 予算や自治体内部事務を行う人的資源が限られている。業務を効率的に整理し推進するためのノウハウを教えてほしい。
- 自治体全体のDX強化を図る必要性やデジタル技術活用の不十分さは感じているが、具体的に何から始めてよいかわからない。 他の自治体が具体的にどのようなことをやっているか知りたい。
- 職員によって意識醸成やデジタルスキルに格差があり、方向性が異なる。上層部の理解が得られない。DX推進に当たって他自治体の庁内根回し方法や調整の工夫があれば知りたい。
- 住民窓口の電子化をすすめても住民への効果的な周知方法が不明で、利用が広がらない。特に高齢者が対応できない。住民周知方法やシステム導入後の対外的な説明方法について知りたい。
- マイナンバーカードの保有率は高く、活用したいが、活用の幅が広がらない。マイナンバーカードの活用事例を知りたい。
- ある事業者のサービスを導入することで話が進んだが規格が合わなかった。他社の同様のサービスや自治体の導入状況が知りたい。既存ツールを生かした運用方法や基盤整備はないか探している。
- 国のある施策を使っているが、他の自治体の事例を参考に、自身の自治体でも取り入れられる施策がほかにもあれば参考にしたい。

7/28に 勉強会 を開催

テーマ　：**行政**（特に課題解決を期待する分野として回答が多く、自治体担当者にとって身近な課題）
参加者　：東海管内の自治体職員、地域情報化アドバイザー、ソリューション提供事業者等
目　的　：勉強会を通して、参加者が、悩みや知見、先行事例等を共有し、意見交換することにより、「**気づきの機会**」とするとともに、参加者同士の「**横のつながり**」を築くことにより、自治体DXの取組を支援

東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会　勉強会

みんなで考える自治体DX　～気づきとつながりで進める行政分野の課題解決～

東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会　勉強会 「みんなで考える自治体DX～気づきとつながりで進める行政分野の課題解決～」（東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会と東海情報通信懇談会との共催）

開催日・場所　令和８年７月28日（火）　ウインクあいち**（オンラインによる配信はなく、現地参加のみ）**

参加者　31名（東海管内の県職員：３名、東海管内の市町村職員：20名、企業等団体職員：８名）

概要　「行政分野」のDXをテーマに、第一部は、国の施策説明や静岡県裾野市・岐阜県下呂市の先行事例を紹介。
第二部は、自治体や企業等からの参加者を３グループ（1グループ10名程度。ファシリテータは第一部の講演者３名に依頼。）にわかれて、生成AIの活用やデジタル化の推進など自治体DXに関する悩みや知見等について意見交換を実施（約30分×２セット）。

第一部　【講演会】国の施策や自治体DXの事例の紹介	
施策説明①	**自治体ＤＸ推進に向けた総務省の施策について** **総務省自治行政局地域DX推進室　林 雅彦氏** 行政サービス及び地域課題の解決について、デジタル技術やデータを利活用し、住民の利便性向上を目的とし、地方公共団体の取組を着実に進めていくにあたって、総務省の取組を紹介。
施策説明②	**ひとりでがんばらない自治体ＤＸ～共創からはじまる「つながる」ＤＸ～** **デジタル庁・浜松市　村越 功司氏** 自治体同士が助け合い、励ましあって進める「ひとりでがんばらない自治体DX」と、助けてもらった自治体が今度は他の自治体をサポートしていく、「つながるDX」を紹介。
事例紹介①	**窓口改革の取り組み** **地域情報化アドバイザー・裾野市総務部デジタル統括課　中原 義人氏** 総務省自治体フロントヤード改革モデルプロジェクトを経た、裾野市の窓口改革について、数値を元に現状を説明。
事例紹介②	**ぬくもりのDX。下呂市が挑む「Unbound（解き放たれた）公務員」** **地域情報化アドバイザー・下呂市最高デジタル責任者補佐官　長尾 飛鳥氏** 2040年を見据えた自治体の生存戦略。生成AIを前提に業務を再設計し前例踏襲からの脱却を目指す。経験のデザインで自律的な変革人材を創出する人と組織の泥臭い挑戦。
第二部　【交流会】講演者と参加者の意見交換・交流	
グループ別２セット	参加者が関心事や悩み等に応じてグループになり座談会方式で自由に意見交換・交流を実施。



増山東海総合通信局長
開会挨拶



第一部 講演会の様子

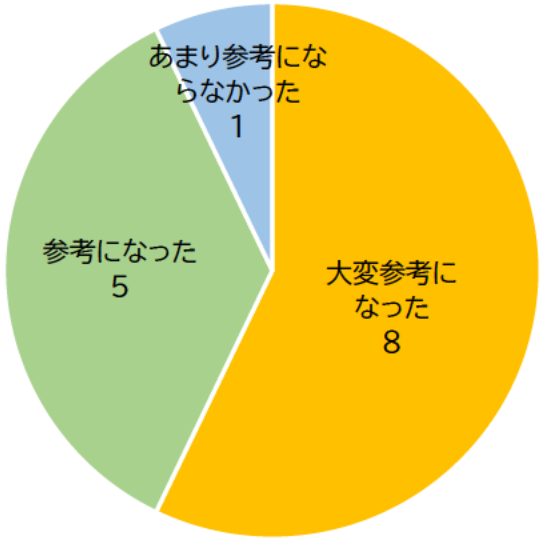


第二部 交流会の様子

勉強会　事後アンケート結果

「東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会勉強会　みんなで考える自治体DX～気づきとつながりで進める行政分野の課題解決～」の参加者に対して、任意で実施。参加者31名のうち、14名(45%)(自治体:12名(52%)、企業等団体:2名(25%))から回答あり。

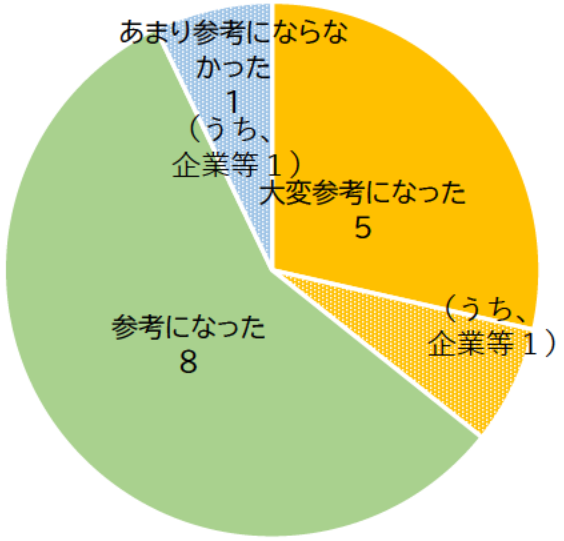
第一部(施策紹介と事例紹介)について、今後の自治体DX業務等の参考になりましたか？



・90%以上の方が「大変参考になった」又は「参考になった」と回答

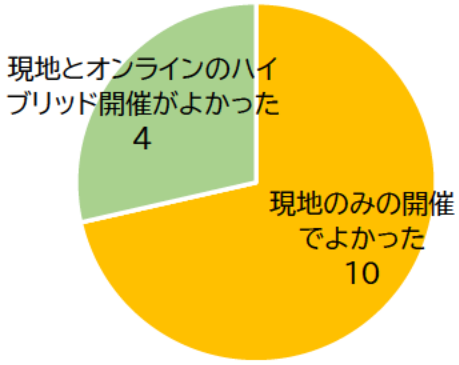
＊ 第一部（施策紹介と事例紹介）のアンケートは、講演ごとに回答を得たため、４つの講演の回答を平均値化した

第二部　意見交換・交流会について、今後の自治体DX業務等の参考になりましたか？

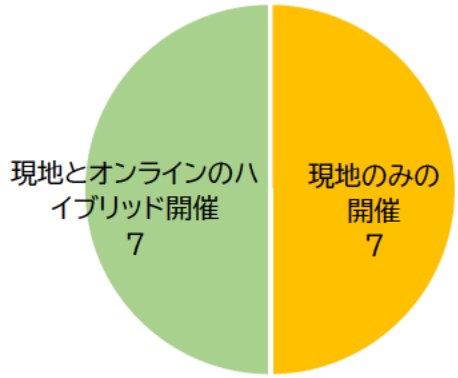


・90%以上の方が「参考になった」と回答
・意見交換は、事務局で事前に組み分けした3グループに分かれて、DXや生成AIの活用、電子化の進捗など自由な話題で行った。

本日の勉強会の開催形式(現地のみ)について、教えてください。



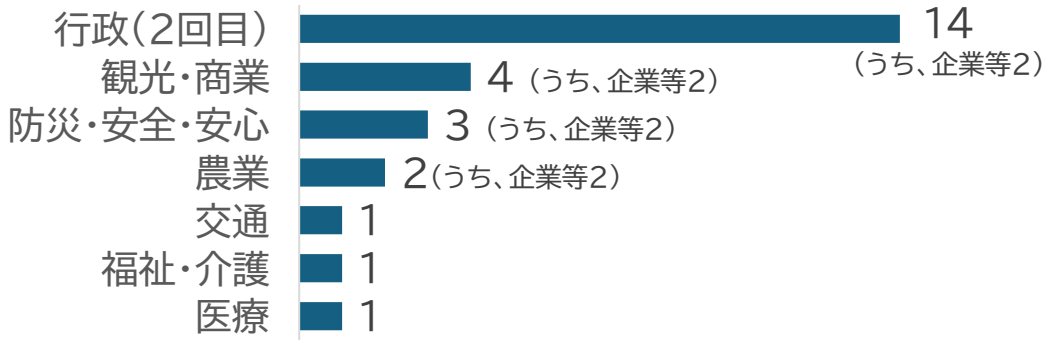
次回以降の勉強会で希望する開催形式は？



＜アンケートの自由記載欄(抜粋)＞

・自治体・民間それぞれの目線からの意見交換ができて良かった。またこのような交流会があると嬉しい。意見交換が30分だと時間が足りないように感じたので、もう少し長めに取るか一グループの人数を少なくしていただきたい。
・現地で対面でしか聞けないような話もあるので現地で行うことの良さを感じた。また、名刺交換の時間がもっと欲しいと思ったので立食形式のような意見交換会ができるとより話しやすいかもしれない。
・旅費等の費用の関係でそもそも参加ができないというところもあるので、ハイブリッドもよい。

次回以降の勉強会で取り上げてほしいDX関連のテーマを教えてください。(複数回答可)

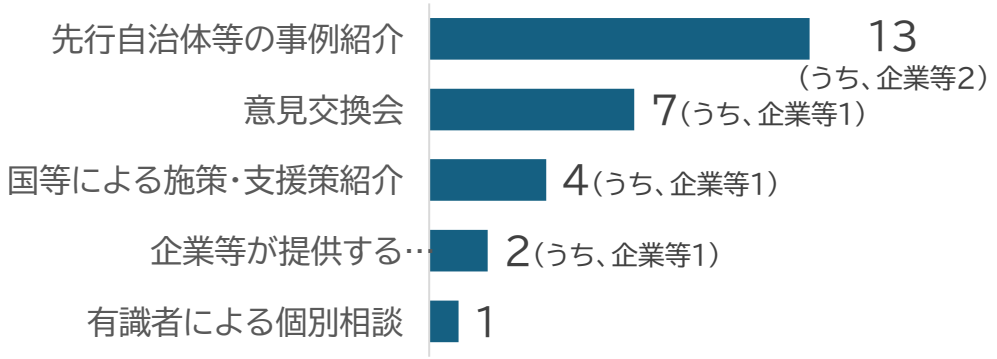


・取り上げてほしいテーマで1番目に多いのは「行政」(全員)で、2番目は「観光・商業」。

・企業等参加者は、行政に加え、他分野も取り上げてほしいと回答。

・自治体参加者は、今回のテーマ(「行政」)を担当業務とする職員が中心であったことから、身近なテーマである「行政」に回答が集中したのではないかと推測。

次回以降の勉強会で実施してほしいプログラムを教えてください。(複数回答可)



・90%以上の方が、先行自治体等の事例紹介を希望。

＜アンケートの自由記載欄(抜粋)＞

・先進自治体への視察というプログラムが組めると面白いと思う。

アンケート調査結果まとめ

- 第一部講演会も第二部意見交換会も概ね「参考になった」、大半が先行自治体等の事例紹介を希望と回答。
  ➡参加者が、行政分野のDXを担当業務とする職員が中心であったこともあり、今回の勉強会の内容(「行政」をテーマ、現地のみの開催、企業等からも参加を募ったこと等)について、高く評価されたものと考えられる。
  次回以降、他分野をテーマとする場合には、参加者の募集方法や先行事例の選定にあたってニーズを考慮する。
  また、自治体と企業のマッチングやソリューション創出につながるようプログラムを検討する。
- 全体的に時間が短く、足りなかったという声があった。また、現地・オンラインのハイブリット開催を望む声も半数あり。
  ➡次回勉強会は、議論がより深まり、多くの自治体等に知見の共有ができるよう、ハイブリッドによる開催も検討する。

次回アンケート調査への協力お願い

今年度も、東海管内全市町村を対象に、各市町村の課題の把握状況やその解決に関するアンケートを実施します。今後の支援等に活用しますので、ぜひご協力をお願いします！

- アンケート期間：令和８年10月末～11月上旬に依頼し、回答期限は1か月程度を予定
- 内容：所属されている市町村の課題やAX/DXの取組状況、総務省等の支援についての要望等についてお伺いします。
- アンケート調査の活用について：

アンケート結果のとりまとめ・分析

結果は、東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会で構成員に報告するとともに、**個別の回答について、フォローアップを実施**。

情報提供

➢ 課題の把握の助けとなるような施策や支援策を紹介。

➢他の先行自治体等のDX/AXを活用した事例を紹介。

➢ソリューション提供事業者のDX/AXを活用した取組を紹介。

セミナー・勉強会の開催

➢ 各自治体の担当者間で、気軽に市町村の課題・業務ノウハウ等を情報交換できる場を設定。

➢ 特に課題の多い分野を中心に、自治体にとって気付きとなるような情報や事例を提供・共有。

➢ 他省庁の施策を含めたDX/AXを活用した支援策や事例を紹介。

➢ ソリューション提供事業者のDX/AXを活用した取組紹介。

個別ヒアリング・支援

➢ 自治体固有の課題や事情をよく聞き取り、意向に沿った支援を提案。

➢ 支援を希望する市町村には、課題解決に向けて伴走支援。

➢ ソリューション提供事業者とのマッチング。